

利得切換式 3224MHz対応 屋外用電源着脱型ブースター

BS・110°CS・UHF増幅
MODEL NSB42DSUE

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をお読みください。



SHマーク（スーパーハイビジョン受信マーク）は、BS・110度CS右左旋放送受信帯域に対応した機器のうち、一般社団法人 電子情報技術産業協会で審査・登録され、一定以上の性能を有するスーパーハイビジョン衛星放送受信に適した衛星アンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。



このマークは放送法「不要放射34dBμV/m以下」に準拠・設計された「Wi-Fiや携帯電話など、電波の影響を受けにくい・与えにくい製品」に表記される当社独自のマークです。

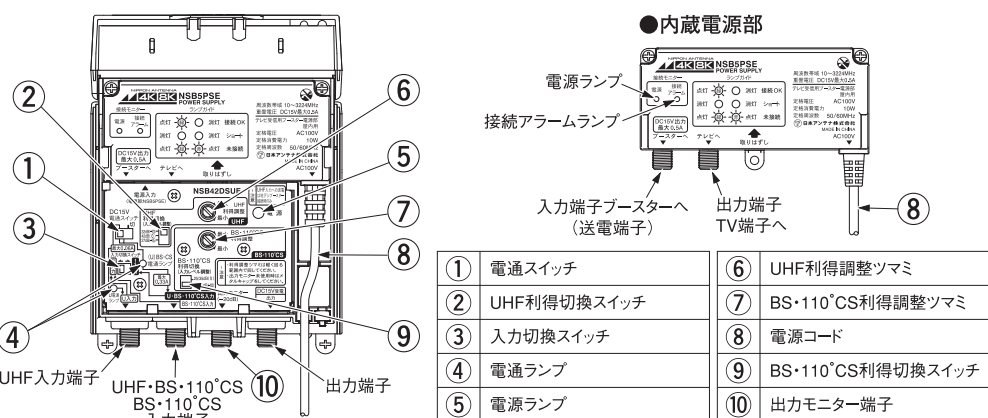


●同梱品	防水キャップ……………3個 5C F型接栓（リング付）……………5個 Uボルト（本体取付済）……………1個 蝶ナット（本体取付済）……………2個	マスト受け金具（本体取付済）……………1個 取付ねじ（本体取付済）……………5本 取扱説明書（保証書付）……………1部 モニター用メタルキャップ（本体取付済）……………1個
------	---	---

出荷時の設定	●UHF（利得調整 最小、利得 32dB側） ●BS・110°CS（利得調整 最小、利得 15/25dB側）	★入力切換スイッチ "2入力" ★電通スイッチ "切"
--------	---	--------------------------------

★印の設定は "使用例および調整方法" を確認のうえ設定をお願いします。

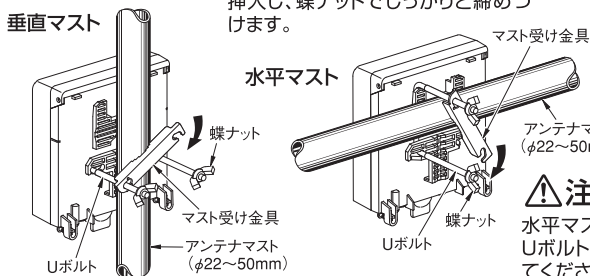
各部の名称



取付方法

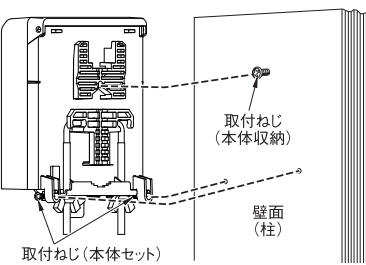
●マスト取付の場合（本体）

○Uボルトを使用の場合 Uボルトを持上げ、マスト受け金具を挿入し、蝶ナットでしっかりと締めつけます。



●壁面取付の場合（本体）

本体に収納された取付ねじをはずし、壁面（柱）の表面から4～8mm出るようにして取付ねじをねじ込んでください。本体上部を取付ねじにひっかけて固定してから下部を本体にセットされた取付ねじ2本でしっかりと固定してください。マスト付け用金具をはずさなくても取付けできます。



●電源部の取付かた

（電源部を本体から取りはずした場合）

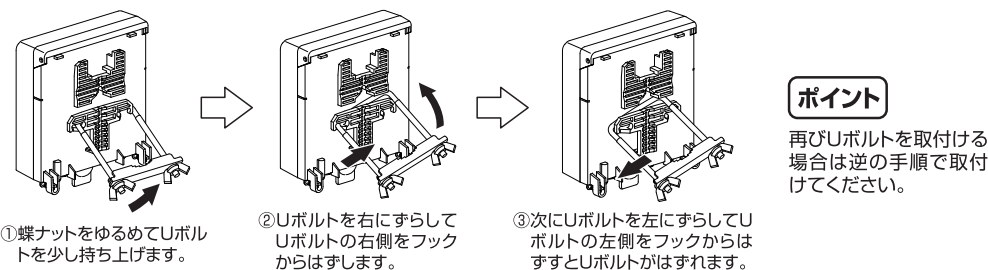
●壁面取付の場合

取付ねじ2本でしっかりと固定してください。

●電源部の取付かた

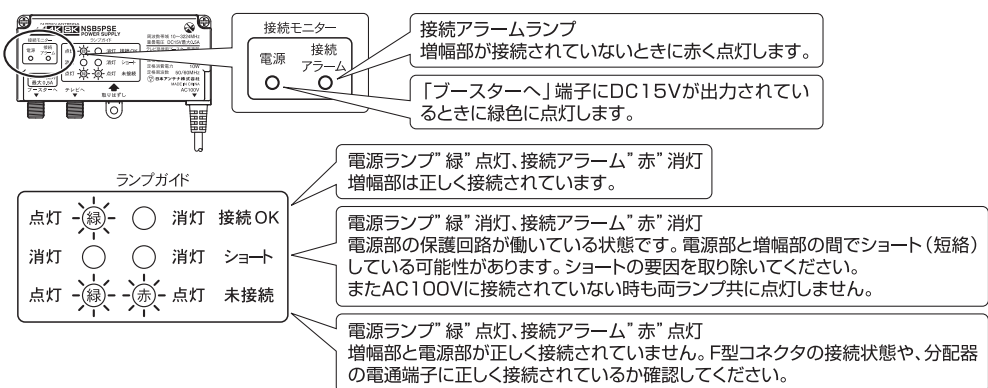
細い梁などに取付ける場合は、中央の取付穴も利用できます。その場合どちらかのねじを取りはずしてご使用ください。

Uボルトの取りはずし方



電源部接続モニターの見方

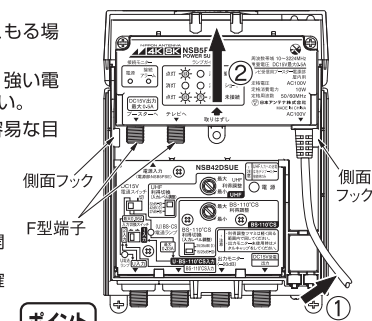
本器の電源部には電源部と増幅部を分離して使用する場合に有効な接続モニターを搭載しています。



設置場所・条件・電源分離方法

- 高温の場所、有毒ガスなどの発生する場所はさけてください。
- 増幅器は発熱しますので、熱のこもる場所はさけてください。
- 電気配線、配線工作物の近くや、強い電磁波を受ける場所をさけてください。
- 本体や電源部はメンテナンスに容易な目の届く場所に設置してください。

■電源部（NSB5PSE）の取りはずしかた

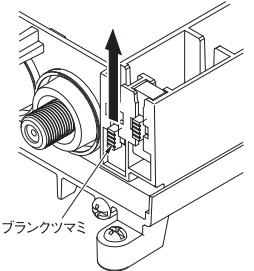


- ①電源コードを本体ケースのミゾからはずします。
- ②電源部にゆびをかけ、上に押し上げます。
- ③本体の側面フックと、電源のF型端子が増幅部からはずれたら、電源部を手前に抜き出します。

■ブラנקツマミの操作

（電源部を取りはずして使用する場合）

- 電源部を取り外したあとは必ず電源コード用のブラנקツマミ（左側）を上にはずしてスライドさせ、穴をふさいでください。
- 雨やほこりの侵入を防ぎます。

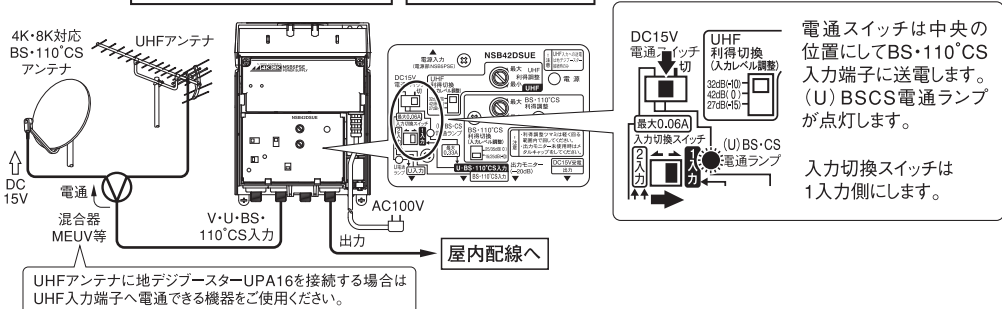


警告

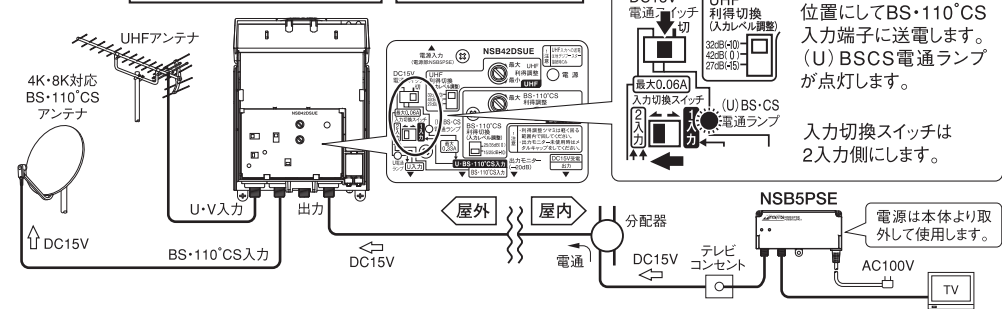
電源部を取りはずす場合または再び本体に収納する場合は、必ずAC100V電源コードをコンセントから抜いておこなってください。

使用例（接続例）および調整方法

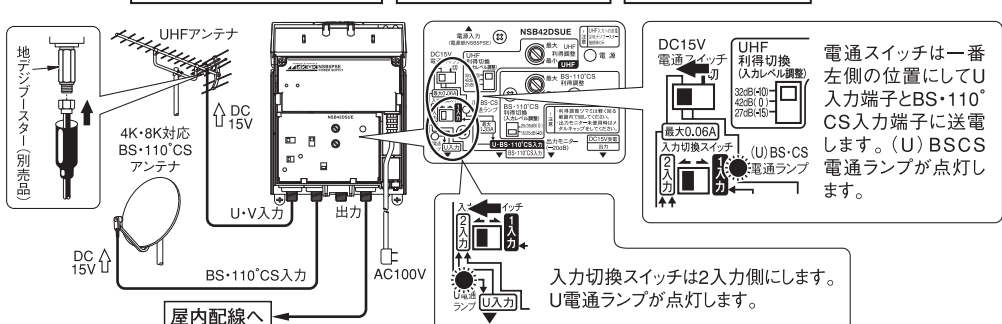
●使用例1 BS・110°CS・UHF1本入力 電源部一体の場合



●使用例2 BS・110°CS/UHF別入力 電源部分離の場合



●使用例3 BS・110°CS/UHF別入力 地デジブースター接続 電源部一体の場合



■UHF帯域とBS・110°CS帯域の入力レベル調整と利得調整について

- テレビ画面が映らなかつたり（ブラックアウト）、モザイク状のノイズ（ブロックノイズ）が出る場合は、電波が強すぎるかまたは、電波が弱いことが考えられます。
- 製品出荷時の各スイッチの設定は、UHFは32dB側、BS・110°CSは15/25dB側に設定されています。

●UHFの受信電波が弱い場合

UHF利得切換スイッチ42dB側（中央）に切り換えてUHF利得調整ツマミを調整してください。それでも改善しない場合はアンテナの方向や設置位置を確認、改善してください。

●UHFの受信電波が強い場合

UHF利得切換スイッチ27dB側（下側）に切り換えてUHF利得調整ツマミを調整してください。それでも電波が強い場合は、別売の減衰器（アッテネーター）を該当する入力端子、もしくは受信アンテナの出力端子に接続してください。

●BS・110°CSの受信電波が弱い場合

BS・110°CS利得切換スイッチ25/35dB側（上側）に切り換えてBS・110°CS利得調整ツマミを調整してください。それでも改善しない場合はアンテナの方向や設置位置を確認、改善してください。

●BS・110°CSの受信電波が強い場合

BS・110°CS利得切換スイッチ15/25dB側（下側）に切り換えてBS・110°CS利得調整ツマミを調整してください。それでも電波が強い場合は、別売の減衰器（アッテネーター）を該当する入力端子、もしくはBS・110°CSアンテナの出力端子に接続してください。減衰器は必ず電通タイプをご使用ください。

■適正入力レベル範囲

帯域	利得切換スイッチ（減衰量）	利得切換スイッチが左図の時の適正入力レベル範囲	
		利得調整ツマミ最大の状態	利得調整ツマミ最小の状態
UHF	42dB (0dB)	最大: UHF 利得調整 最小: UHF 適正入力レベル: 40～61dBμV	最大: UHF 利得調整 最小: UHF 適正入力レベル: 40～71dBμV
	32dB (0dB)	最大: UHF 利得調整 最小: UHF 適正入力レベル: 40～61dBμV	最大: UHF 利得調整 最小: UHF 適正入力レベル: 50～71dBμV
	27dB (0dB)	最大: UHF 利得調整 最小: UHF 適正入力レベル: 55～76dBμV	最大: UHF 利得調整 最小: UHF 適正入力レベル: 55～86dBμV
BS・110°CS	25/35dB (0dB)	最大: BS・110°CS 利得調整 最小: BS・110°CS 適正入力レベル: 45～68dBμV	最大: BS・110°CS 利得調整 最小: BS・110°CS 適正入力レベル: 45～78dBμV
	15/25dB (0dB)	最大: BS・110°CS 利得調整 最小: BS・110°CS 適正入力レベル: 55～78dBμV	最大: BS・110°CS 利得調整 最小: BS・110°CS 適正入力レベル: 55～88dBμV

ポイント

- 本器には－20dBの出力モニター端子がありますので。市販のレベルメーターなどを接続して出力レベルを確認することができます。
- 出力モニター使用後は必ずメタルキャップを取付後、防水キャップを取付けてください。

■左旋サービスが始まっている場合のレベル調整

左旋サービスが始まっていない時期に4K・8K対応BS・110°CSアンテナを設置する場合は、右記のレベルを目安に調整してください。

ND24 (2053MHz) : 97.6 (dBμV)

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		
		△記号は注意（注意・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
		○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
		●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定場所に置かないで、指定の固定方法で取付けてください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、同軸ケーブル重畳方式にて動作可能な機器は、表示された重畳電源を供給してください。その際は電源プラグをコンセントから抜いてご使用ください。

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると、火災・感電の原因となります。

●万一、本品を落としたり、破損した場合には、電源プラグをコンセントから抜いて販売店工事業者にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●雷が鳴りだしたら、アンテナ線、機器には触れないでください。感電の原因となります。

●本品上面のカバーをはずしたり、改造したりしないでください。また、本品の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店工事業者に依頼ください。

注意

●お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因となることがあります。

●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本器の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。

●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて外部の接続コード（アンテナ線、機器間の接続コードなど）をはずしたことを確認の上、おこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●本品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
●次のような使い方はしないでください。
○本品を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
○テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。
○お向付けや横倒し、逆さまにする。

標準性能表

●増幅部

項 目		型 名		NSB42DSUE		備 考	
周 波 数 帯 域 (MHz)		UHF 470～710 (13～52ch)		BS・110°CS 1032～3224		切 換 式、標 準 値 (入力レベル調整)	
利 得 (dB)		42		25／35 ※3			
		32		15／25 ※3			
利 得 調 整 範 囲 (dB)		0～10		0～10		連 続	
適 正 入 力 レ ベ ル (dBμV)		40～86		45～88 (48波)			
定 格 出 力 レ ベ ル (dBμV)		103 (9波)		93／103 (48波) ※3			
雑 音 指 数 (dB)		2.5以下 ※1		10以下		利得最大:2入力 (ヘッド)時	
入力・出力インピーダンス (Ω)				75		F型	
電 圧 定 在 波 比		3以下		2.5以下			
2次相互変調 [IM2] (dB)		――		－31以下 (48波)			
3次相互変調 [IM3] (dB)		－68以下		－61以下 (48波)			
ハ ム 変 調 (dB)				－50以下			
出力モニター結合量 (dB)				－20		標準	
受 電 電 圧 ／ 電 流 (V/A)				DC15／0.15		増幅部	
消費電力				3.5			
(W)	入力端子送電時			9.6		※2	
通 電 容 量 (V/A)				DC15／0.33		入力端子合計で	
使 用 温 度 範 囲 (℃)				－20～＋50		本体周囲温度	
外 形 寸 法 (mm)				高さ136 幅121 奥行48			
質 量 (kg)				0.6		電源部含む	

●適正入力レベル範囲はチャンネル数および各チャンネルのレベル差などにより多少異なります。

●入力端子へ15Vの送電が可能です。（ON・OFF切換スイッチ、パイロットランプ付）

項目		型名		NSB5PSE	
周波数帯域 (MHz)		10〜770		770〜3224	
挿入損失 (dB以下)		1.5		3.0	
電圧定在波比 (以下)		1.5		2.5	
電圧 (V/W)		AC100 (50/60Hz) / 10			
入力・出力インピーダンス (Ω)		75 (F型)			
重畳電圧 (V/mA)		DC15/最大500			
使用温度範囲 (°C)		−20〜+50 ※4			
外形寸法 (mm)		高さ32 幅110 奥行58			
質量 (kg)		0.21 ※5			

※1 490〜680MHzは2.0以下
※2 地デジブースター：0.06A
BS・110°CSアンテナ：0.27A送電時
※3 1032/3224MHzの値
※4 本体周囲温度
※5 電源部単品

●接続モニターランプ付き

保証書

型名		NSB42DSUE	
お客様様	お名前		
	ご住所		
		電話番号	()
お買上げ日		年 月 日	
保証期間（お買上げ日より）		本体 1 年	
		（但し消耗品は除く）	

2. 保証期間内で次の場合には有料修理とさせていただきます。
①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行為による故障および損傷。
④海岸付近、温泉地などの地域における公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
⑤ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
⑥異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
⑦用途以外で使用した場合の故障および損傷。
⑧塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
⑨消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
⑩日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
⑪本書のご提示がない場合。
⑫本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。なお弊社支店・営業所・出張所は弊社ホームページをご覧ください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
①無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。
②修理対象品を直接当社支店・営業所・出張所まで送付された場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理をおこなった場合、出張料はお客様負担とさせていただきます。

3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合は、最寄りの弊社支店・営業所・出張所にご連絡ください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This Warranty is valid only in Japan）
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

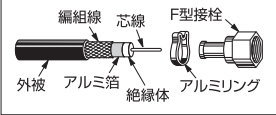
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。

同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法（付属品）

◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■各部の名称



防水キャップは必ず同軸ケーブルに通してください。



※付属の防水キャップは接栓を取付けた後からでも通すことができます。

注意

加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。

ポイント

●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
●芯線に付着物がなければ確認し、付着物がある場合は、きれいにとってください。
●芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。（※同軸ケーブルを交換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。）

●F型接栓締付トルク 約2.0N・m (約20kgf・cm)

使用上の注意

アンテナレベルについて

注1 デジタルテレビなどの“アンテナレベル”の数値は、アンテナ設置方向を確認する際の目安値です。電波の強さを表す値ではないため、本器を使用しても大きくなるとは限りません。

デジタル放送受信について

注2 本器設置後、テレビ画面が映らない（ブラックアウト）、画面上にモザイク状のノイズ（ブロックノイズ）などの症状が出る場合は、調整の他に以下の項目をご確認（調整して）ください。

ーテレビ（チューナー）への入力レベルが低い場合ー

- 地上デジタル放送受信の場合は、受信エリアをご確認ください。
- アンテナの位置、方向および高さなどを、調整してください。

ーテレビ（チューナー）への入力レベルが高い場合ー

- テレビのアンテナ入力端子に減衰器（アッテネーター・別売品）を取付けてください。

注3 チャンネル間のレベル差が極端に大きいと、レベルの低いチャンネルにモザイク状のノイズ（ブロックノイズ）などが出る場合があります。

機器の接続について

注4 入力端子・出力端子のケーブル配線および接続は確実におこなってください。（入力端子・出力端子のケーブル配線や接続方法が悪いと画像不良の原因となります。）

注5 F型接栓の接続は確実におこなってください。F型接栓がゆるんでいると、風によるケーブルの振動などにより、F型接栓がはずれることがあります。ケーブルは別売のインシュレーターでしっかり固定してください。

注6 電源部を分離して使用する場合、電源部とブースター（増幅部）の間に電流通過型ではない分配器などが接続されていると、本器は正しく動作しません。電流通過型の分配器などをご使用ください。また、電流通過端子に接続されているかご確認ください。

注7 UHFアンテナに直接電気を送らないでください。

注8 UHF入力端子に地デジブースターUPA16を接続しない場合は、必ず電通スイッチを「中央」にしてください。地デジブースターを接続しないで電通スイッチを「左側」にすると接続されたアンテナにより電源がショートし、ブースターが正常に動作しません。

注9 4K・8K放送に対応したシステムにする場合、使用機器、同軸ケーブルなどは、すべて3224MHzまでの周波数帯域で特性が保証されているものをご使用ください。

注10 本器はFM・VHFは通過しません。

電源部について

注11 電源部は本器専用です。他のブースターなどに使用しないでください。

注12 電源部は少し温かくなりますが、これは電子部品の放熱作用によるもので本品の故障ではありません。

お客様窓口	0570-091039	ご利用時間 9:00～12:00 13:00～17:30 （土・日・祝祭日・弊社休業日を除く）
-------	-------------	--

日本アンテナ株式会社

本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03) 3893-5221 (大代)
（ホームページアドレス）http://www.nippon-antenna.co.jp/

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
7112364 平成29年10月